

## 第7回フォローアップ研修会

### 千葉県自然観察指導員協議会フォローアップ研修会

井上 智史(千葉市)

日 時： 2009年11月14日(土)・15日(日)

場 所： 千葉市少年自然の家(千葉県長柄町)とその周辺

参加者： 35名

1日目、朝からの強い風雨がおさまったくフィールドでは、真っ赤やオレンジ色、縞模様などのカラスウリの実があちらこちらで目につきました。森の上に広がった見事な夕焼けの予言通り、2日目は素晴らしい秋晴れに恵まれました。

- ・ 自然観察実習(楠元さん): 里山として整備活動をされている軽坂の森と、武峯神社の権現の森とを巡る観察。人が入ることで森の状態が変わるものだということ、そしてその状態を維持するためには地道な作業を続けることが必要だということがよくわかりました。
- ・ 里山活動体験報告(神さん、真鍋さん、三嶋さん): 佐倉、君津、松戸でそれぞれ活動されている3名の方の報告。背景や活動内容、問題点など異なるのですが、行動しないことには始まらない、と言うメッセージを受け取りました。
- ・ 森林の働きについての実験(佐野さん、木下さん、山田さん): 世界・日本・千葉などの一人当たり森林面積の体感、樹木の二酸化炭素吸収量計算、透水性実験、森林内外温度測定、照度測定、水質実験、まとめの紙芝居、と盛りだくさんの内容。数値で示すことによる説得力の強さと、その結果を得る実験の難しさとを実感することができました。

私にとっては初めてお会いする方が多い研修会でした。講師の方はもちろんのこと、同室になった方や、交流会で一緒になった方、また野外活動で話をさせていただいた方など、皆さんそれぞれのやり方でとても熱心に活動をされているということがよくわかり、大変刺激されました。

1日目が里山、2日目が実験、という研修でしたが、これらは単なる知識の伝達ではなく“思想”を伝えるものなのだと思います。思想に正解はないのでしょうかけれど、自分なりの“解”(あるいは“思想”)を持っていない私には、これらを題材とする資格はまだないのだと改めて認識させられた2日間でもありました。

＜自然かんさつからはじまる自然保護＞、思い出しました。



＜軽坂の森＞



＜権現の森＞



＜樹木の高さ測定＞



＜透水性実験＞